

日時：令和2年7月29日（水）午後6時30分～7時30分

会場：高浜市役所 会議棟3・4

出席者：大人チームメンバー 14人（欠席7人）、たんぼぼニュース 神谷  
総合政策グループ 深谷部長、榊原 GL、田中主査、京極主任  
事務局 山本副主幹、中村主事、多武

### (1) これまでの状況 ご報告

#### ★es カフェさんのオリジナルパン（竹炭&チョコベグル、ロゴカラーブレッド）について

- ・ベグル自体初めて食べたけど、おいしい。腹もちもいい。
- ・ロゴカラーブレッドは生クリームと合いそう。  
5色それぞれの味がわかるといいかも。



#### ★シンボルマークのアクセサリーについて

- ・缶バッジくらいのサイズのほうが、大きさや重さ的につけやすいと思う。
- ・SDGsのピンバッジは、市長が広報マンとしてさしていたのをきっかけに流行りだしたところがある。



※前回の会議から1か月ほどで、商品は1店舗、  
シールは3店舗と協力していただく店舗が増えている。  
まだまだ紹介をお願いします。

### (2) プレゼント企画のキャンペーンについて

#### ★キャンペーンの方向性

- ・キャンペーンを開催するにあたって、開催時期や景品、応募方法やシールの取り扱いというところを話し合っていければ。
- ・「もっと多くの人にお店に足を運んでもらうため、事業を盛り上げるため」にキャンペーンを始めようとしている。
- ・景品について、このキャンペーンのためにというわけではないが、50周年ロゴ付のエコバッグを100部ほど用意しているので、これを景品とすることも可能。
- ・参考資料にある西尾市のキャンペーンは5か月の期間で220件ほどの応募があった。

#### ご意見など

- ★ダブルチャンス（抽選）の景品としてエコバッグは寂しいかも。景品をもっと豪華にしてみてもいい。
- ★ロゴの入ったエコバッグであれば、今からでも使ってもらった方が宣伝になるのでは。
- ★景品が豪華になるとキャンペーンに参加する意欲がわく。
- ★エコバッグに企業のロゴを入れたりして、協賛金をいただくのはどうか。
- ★キャンペーン期間はしっかり決めて、そのときにあらかじめシールを店舗に渡すのが良い。今貼ってもらっているシールの後にキャンペーン用のシールを店舗に渡してもメリットがないのではないか。
- ★シールの枚数により景品を変えるのはどうか。（ex.シール2枚ならゴミ袋、シール5枚ならエコバッグ）
- ★店舗側のサービスの値段によってシールの色分けをする。

- ★対象商品が安いほど、参加者は増加するのでは。
- ★期間はプレミアム商品券期間終了後の12月から半年間くらいでどうか。
- ★第1弾、第2弾というように、シーズンを分けて変化をつけるのも良い。
- ★期間を分けるのであれば、例えば冬のキャンペーンに間に合わない店舗でも春のキャンペーンに参加できたりと、店舗を増やすことにもつながる。
- ★景品はチケットやお店のランチ券などでもいいかも。
- ★お店側にメリットがないと。店側は知ってもらいたい、商品を買ってもらいたい。市はそれを広めたい。
- ★「オリジナル食べ物」だとわかるようなものがあって方がいい。(オリジナル食べ物だと知らずに購入する人もいると思う)
- ★町内会の回覧やポスター、市役所の入り口にオリジナル食べ物を展示したりして広める。
- ★50周年のチャンネルをつくって、協力店のPRができるといい。
- ★コロナウイルスの影響でかえって準備期間が長くとれる。これはメリットだ。

事務局がこの日の意見を集約し、後日案として提示

◎次回会議開催予定日時：8月26日（水）18：30～ 会議棟3・4

※新型コロナウイルスの状況により、中止・延期になる場合があります。

ご了承ください。



高浜市市制50周年キャッチフレーズ

ちようどいいまち  
ちよっといいまち  
これまでもこれからも